

# 第9回全日本リレー、迫る

尾上秀雄

## 通算10回目の、都道府県対抗、優勝旗・杯はどこへ？



全日本リレーオリエンテーリング大会も今年で9回目。石川で行われた試行大会を含めれば10年続いたことになる。日本のオリエンテーリングの活性化に大きく貢献したこの大会も、今年は参加が400人と大きく落ち込んでいる。それでも、各クラス、そして団体総合の成績に個人戦以上の興味が集まる。

3連覇を遂げた神奈川の監督であり、競技者の情報に詳しい尾上氏に、今年全日本リレーを予想してもらった。

### 男子選手権クラス（ME）走順予想

	1	2	3	4
東京	菅原琢	鹿島田浩二	加賀屋博文	松澤俊行
神奈川	小河原成哲	鈴木卓哉	上坂寛之	山本英勝
埼玉	新 隆徳	富田吉郎	柳下大	羽鳥和重
茨城	入江崇	小泉成行	藤井範久	藤城公久
千葉	柿並義宏	山口大助	小林岳人	石井龍男
静岡	藤田晴康	村越真	平井均	田代雅之
愛知	安井真人	羽柴公貴	安斎秀樹	稲葉英雄
京都	西村真人	奥村理也	金井塚文人	許田重治
長野	元木悟	加々美健朗	丸山茂樹	黒田幹朗
滋賀	玉木圭介	西尾信寛	大島健一	土屋周史

### 男子選手権クラス（ME）

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
	東京	千葉	愛知	福島	広島	静岡	神奈	兵庫
神奈	2	1	5	2	6	1	1	1
東京	1	2	3	1	1	2	4	2
茨城	7	3	8	8	8	3	3	3
長野	19	0	16	0	15	0	13	4
静岡	11	6	1	22	3	8	0	5
福島	17	18	14	23	19	7	7	6
千葉	6	12	11	4	7	9	0	7
兵庫	10	7	7	5	14	11	6	8
愛知	8	5	6	14	4	4	5	9
埼玉	5	8	9	3	5	6	2	10
京都	12	4	2		0	10	10	11
石川	0	0	21	17	21	16	9	12

第9回全日本リレーオリエンテーリング選手権大会が、11月19日に富山県で開催される。ちょうどその大会直前の時期なので各都道府県の戦力を展望してみよう。今年は競技者登録制度が施行されて初めての大会ということで、今までと異なる都道府県からの参加者も少なからず存在するため、各チームのメンバー予想は困難を極めた。各チームの団長・監督にお願いして許される範囲での情報提供を得て以下をまとめた。この場を借りてご協力を感じたい。またメンバー＆走順は監督コメントにあるもの以外は、筆者の勝手な予想によるものなのでこの点もご了承ください。なお既にプログラムが配布されている時期なので、合わせてお読みいただくことをお願いしたい。

## 男子選手権クラス

過去8回の成績でトップを見てみると神奈川、東京以外では静岡が1回記録しているだけである。とはいえその神奈川、東京も過去6位まで順位を落としたことがあることからも分かるように最激戦区である。ちょっとした失敗で大きく順位を落とす厳しさのあるクラスである。

今年の目玉は何と言っても今まで千葉だった松澤が東京に加わったことだろう。世界選手権クラスの3人を揃えた東京は今年こそ死角のない大本命チームに見える。走順だが第0回大会の時に、ここ富山で大活躍した菅原を1走にするに違いない。そして万一出遅れてもトップ集団に復帰すべく、昨年同様2走に鹿島田を持って来るだろう。以下、加賀屋、松澤の豪華リレーだ。この大本命に対抗するのが過去このクラス3連覇中の神奈川。ここ数回の大会で、2、4走は鈴木、山本の指定席で今年もそのパターンだろう。調子が登り基調の上坂を3走に入れて1走に小河原を持ってくると読んだ。2走時点でトップになっていれば勝負になる。

これと遜色ないのがレベルの揃ったの埼玉だ。お互いにぎりぎりのところの勝負になるのでよ

っとしたミスが致命傷になるだろう。埼玉は新の馬力で1走を乗り切り、好調富田で前半の勝負を賭けるのが面白い。走力のある柳下がうまくつなげば、羽鳥が榛原大会で好走しているだけにチャンスが出てくる。

今年一発が恐いのが茨城と静岡。筑波大の成長株小泉とサン・スーシ入江を加えた茨城は侮れない。同様に田代を加えてレベルアップした静岡は村越を擁するだけに、藤田のでき次第では恐れ存在だ。昨年アンカー黒田の5人抜きで4位入賞を果たした長野は、同じメンバーで臨めれば2匹目のどじょうがいるかもしれないが1人でも欠けるようだと上位進出は苦しいだろう。さらに千葉、愛知もリレーなら力を発揮する強豪揃いで目が離せない。奥村と京大中心の京都と、土屋、西尾を揃えた滋賀あたりも一桁前半を狙って来るだろう。

### <監督のコメント>

静岡：走順は、藤田>村越>平井>田代。公然と上位をねらっています。一走藤田がかぎ。ここを5分以内に乗り切ると、他の上位チームにとっても怖い存在となることでしょう。

千葉：トップ引き逃げ切り型。1走：先頭集団を引っ張る。2走：先頭集団の引離し。3走：貯金により順位を維持。4走：逃げ切り。

### 女子選手権走順予想

	1	2	3	4
埼玉	山本康世	金子恵美	三好暢子	田島利佳
東京	渡辺円香	志村直子	深沢博子	金並由香
茨城	塩田美佐	加藤真理	加藤貴子	木植早生
千葉	長谷川恵子	宮本知江子	赤石英美	小林正子
神奈川	岡田真希子	宮川祐子	山根玲	志村聡子
愛知	丹羽美智子	伊藤恭子	森 藍	落合志保子
京都	佐藤 渚	塩田純子	橋本かよ	寺嶋貴美江
静岡	北原静香	佐藤智香	村越久子	森田有希子
滋賀	大島裕子	横江君香	小澤洋子	中家陽子
長野	元木友子	上松佐知子	斎藤裕美	出利葉理子

### 女子選手権クラス (WE)

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
	東京	千葉	愛知	福島	広島	静岡	神奈	兵庫
埼玉		5	5	4	2	1	2	1
茨城	6	7	4	2	4	4	6	2
神奈	3	1	6	1	3	3	4	3
千葉	1	3	2	6	5	5	8	4
東京	2	2	1	3	1	2	1	5
愛知	10	0	9	0	0	9	3	6
京都	5	0	8	0	7	12	7	7
静岡	7	0	10	5	12	13	5	8
長野	9	0	11	0	13	0	9	9
広島	8	4			14	14	12	10
兵庫	4	0	0		0	0	15	11
三重				0	0	0	0	12

愛知：早大4年インカレ優勝候補の安井、ここぞという時は必ず実力を発揮する羽柴、ワールドカップから帰って間もない安齋、リレーならまだ日本のトップレベルで通用する稲葉という最近にない強力メンバーで初めて優勝を狙います。

埼玉：昨年このクラスで上位にいけなかったのが失敗。アクシデントはあるものです。今年は久しぶりの富田エリート復活で、リレー巧者の意地を見せてもらいましょう。もちろん他3人も順調に調整してきており当日は他県が恐れをなすこと間違いなし！

茨城：セレクショントップ通過のベテラン藤井、元世界選手権日本代表の入江、これからますます楽しみな筑波大の小泉、そして監督の藤城とメンバーが一新。昨年3位と上位入賞しているだけに今年も良いパフォーマンスを目指します。

栃木：一応点数が付くように頑張りたいと思います。

京都：6位以内が目標です。

## 女子選手権クラス

男子ほど絶対的な安定さは感じないが、ここ数年、神奈川、千葉、茨城を押さえて埼玉、東京が少しリードしている感が強い。誰かエースがいることより、公認大会エリート級の選手を4人揃えられるかどうかでチーム力が決まると言っても過言ではないだろう。そういう意味で絶対的な選手層が不足しているのは明らかであり、補欠選手のレベルを見ることでその県の強さが判断できる。

エリート級の選手が余っている埼玉と東京が本命と対抗するのは誰の目にも明らかだが、絶対と言えない不安が残る。山本を加えて若返りした埼玉に死角があるとすれば安定度抜群の高野を賢沢にWSに回したことだろう。その分重圧のかかる三好と田島のできが鍵を握る。走順は最近好調の山本、金子の2人でレースを作る作戦で、三好、田島を後ろに回すだろう。一方の東京は中村正子もいるがこの4人を予想した。1走は経験もあり安定感のある渡辺を起用し、志村でつないで深沢、金並で勝負すると読んだ。このチームは志村と深沢のできが鍵だろう。この2チームを脅かす存在は、茨城、千葉、神奈川あたり。茨城は筑波大トリオと木植という組み合わせ。アンカーにエースの木植を持ってくれば安心してオーダーが組める。すっかり安定感を増した塩田を得意の1走で使い最初からリードを狙う作戦が面白い。OGの貫禄真理と現

役3番手筆頭の貴子という好調加藤コンビでつなぎ切れればアンカー木植で楽しみな展開が作れるだろう。千葉は老練なメンバーだけに大きく崩れないのが強み。落合、伊藤の2枚看板を持つ愛知は、3、4人目の活躍如何では上位を脅かす存在となる。京都も寺嶋（高木）を加えて戦力アップ。滋賀は前半勝負のオーダーで来るだろう。あとは筑波大の上松を加えて戦力アップした長野がどこまで頑張れるかなどが見どころか。

### <監督のコメント>

静岡：村越、北原の固定メンバーに、今年好調の佐藤、学生最後の年に賭ける森田。佐藤は、村越・北原を抑えて予選通過だけにチーム全体のレベルアップも期待できる。

千葉：1走：第二集団。2走：先頭集団に近づく。

3走：先頭に追いつく。4走：先頭でゴール。

滋賀：完走 & 10位目標

埼玉：昨年堂々の優勝を果たしたこのクラスも、金子の復活と山本の新規加入で新メンバーでの優勝狙いです。三好、田島の仕上がりに次第では、ぶっちぎりのトップも夢ではない？

茨城：日本のエース木植さん、学生界を引っ張る塩田さん、そして伸び盛りの学生加藤貴子さん、加藤真理さん（ともに筑波大）です。昨年2位入賞なので今年も盛り上げます。

## 男子シニア

6年間3位以上入賞を続けていた千葉が今年はいない。このクラスは、埼玉、東京、神奈川の3県だけで30人以上がセレクションに参加しており、その層の厚さが示すように上位はこの3県に絞られる。首都圏集中化が最も顕著なクラスだ。

### 男子シニア走順予想

	1	2	3	
埼玉	澤田晴雄	早野哲郎	福田雅秀	
東京	山本賀彦	鈴木雄輔	竹内藤雄	
神奈川	藤平正敏	小泉辰喜	宮川達哉	
長野	木村佳司	須田	目黒	加藤
茨城	河村健二	篠崎東雄	山川建	
滋賀	平島俊次	川北悟士	古津和夫	奥村隆明
愛知	松橋徳敏	瀬口洋治	新家秀男	古澤ヒロシ

### 男子シニアクラス(MS)

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
	東京	千葉	愛知	福島	広島	静岡	神奈	兵庫
埼玉	2	4	9	6	7	2	2	1
東京	1	6	3	1	1	6	5	2
千葉	4	8	1	3	2	1	3	3
神奈	5	2	4	4	3	9	1	4
大阪	9	5	2	2	4	3	6	5
岐阜	18	11	17			14	17	6

吉田勉の代わりに早野を加えた埼玉が必勝を期す。対抗の東京はヨルクを失って苦戦か。それらの間隙を縫って上位に顔を出したい神奈川は、武藤拓王の代わりに昨年末で東京だった小泉を加えて巻き返しを図る。

<監督のコメント>

埼玉：早野の新規加入でますます厚みが出てきた中でメンバー選出です。走力には他に引けを取らない3人で、最高位をゲットします。

茨城：昨年はベテランのメンバーでしたが、セレクションでシニアの全選手に勝利したためシニアで走っていたただく河村さん、そして昨年もメンバーであった篠崎さん、初挑戦の山川さん（ともにつくばROC）です。楽しいメンバーです。

だが、今年は千葉、兵庫あたりが断念したようで少人数での戦いとなる。寂しい限りだ。

一段とパワーアップしたのが東京。昨年末で千葉だった草野を加えて万全を期す。超エースの高野をWSに回した埼玉がどこまで対抗できるかが見物。神奈川も7年前にインカレで活躍した同期トリオが今年からこのクラスの出場権を得たのでお手並み拝見というところか。

<監督のコメント>

埼玉：昨年はたなぼたの優勝でしたが、これも実力あってのこと。今年は高野をエリートからシニアに移し対抗します。おくさまパワーが他を圧倒するのは間違いないでしょう！

## 女子シニア

当初は出れば入賞だったこのクラスも30才以上に年齢が引き下げられて参加チームも増えていたの

## ジュニア男子

このクラスは伸び盛りの若者が多くて予想が難しいが、経験年数による差が予想以上に大きい。従って高校生でも活躍のチャンスがあるのが特徴だ。高

### 男子ジュニアクラス (MJ)

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
	東京	千葉	愛知	福島	広島	静岡	神奈	兵庫
神奈	4	6	5	3	4	5	3	1
京都	2	1	2		2	2	12	2
茨城	0	3	7	5	5	0	7	3
埼玉	0	13	4	8	6	11	8	4
兵庫		12			3	10	9	5
静岡	8	2	3	7		6	11	6

### 女子シニア走順予想

	1	2	3
東京	宇野明子	竹内亜希子	草野望
埼玉	山岸千津子	高野由紀	渡辺加和美
神奈川	西村初実	渡辺弥生	砂川陽子
愛知	古澤久美	三井由美	佐藤順子
	鈴木幸子		

### 男子ジュニア走順予想

	1	2	3
東京	小山温史	宇田川雅令	加藤弘之
茨城	増田佑輔	佐々木良宜	埴利彦
埼玉	狐塚智康	針谷尚幸	海老成直
神奈川	森下隼人	高石哲	山田高志
静岡	上條真哉	長谷川靖	松井貴史
千葉	大栗宗	武田圭二	芳賀俊哉
愛知	長瀬陽一郎	藪田隆俊	伊藤潤也
	後藤隆介		

### 女子シニアクラス (WS)

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
	東京	千葉	愛知	福島	広島	静岡	神奈	兵庫
埼玉		5	4	1	4	4	4	1
東京	1	2					5	2
愛知			2		2	3	2	3
兵庫		1						4
神奈	2	3	1	2	3	1	1	5
千葉					1	2	0	6

校OL界の上位選手やJWOC日本代表選手が核になっているチームが、やはり上位に来るだろう。

JWOC代表選手は東大の加藤と宇田川、筑波大の増田と佐々木(代表次点)、学芸大の狐塚らだ。高校生では麻布学園の小山と海老、桐朋学園の山田らが大学生と変わらない実績をあげている。まず東京だが、加藤、宇田川の次は小山と読んだ。一方茨城は、増田、佐々木の次は、8月のトータス大会のMJで総合2位になった茨城大の埴だ。この東京と茨城が本命と対抗だろう。これに肉薄するのが狐塚と全日本M18Aを制した海老、そして東大の針谷を擁する埼玉だ。慶應義塾大の期待の若手、森下と高石にインターハイチャンプの山田のいる神奈川や京大勢中心の京都も侮れない。

<監督のコメント>

茨城：昨年3位の男子がメンバーを2人残しました。増田君、埴君です。さらに関東のプレセレクトップ通過の佐々木君を加え、今年も有望です。

埼玉：狐塚、針谷という埼玉ではおなじみのメンバーにさらに若手の高校生海老が加わりパワーアップ！ますます面白い展開が期待できるこのメンバーでトップを狙います。

千葉：未来型 1走：未知数 勝ち栗。2走：未知数風の如し。3走：未知数 OLの萌芽

京都：目標は優勝です。

ラスでは超エース級の番場を擁する京都が、3人目に最近伸長著しい石川を持って来る筈でまずは本命だろう。対抗は2人のJWOC選手と、最近安定度を増してプレセレ中位通過を果たした相模女子大の松永の神奈川を挙げたい。もっともその後を追う茨城、東京、埼玉、静岡もほとんど差がない。中でも茨城は元気な前田と最近レースを沢山こなして伸び盛りの平林らが大き化する可能性があり、恐い存在だ。とはいえどのチームも、一旦ミスをしたらどこまでも落ちてしまう危険性を抱えているので、どこにもチャンスがあると言うのが正しいだろう。

<監督のコメント>

静岡：JWOC選考会でも次点(繰り上げ)であった鈴木、そして望月という相模女子大組を加え、静大からはびちびち1年生の松島が走ります。このクラスも上位がねらえるでしょう。

茨城：昨年の経験者前田さん(関情大) 初挑戦の平林さん(東北大)、高野さん(筑波大)です。若いメンバーですので、今回はぜひ今後につながるような経験を味わってほしいです。

埼玉：昨年メンバー不足で出場を断念したこのクラスも今年は3人の若い力を確保。一人一人の力はついてきているようなので、当日他県をびっくりさせるような結果を出すのは確実・・・。

## 女子ジュニア

このクラスはまだバラツキの大きい選手が多く、いわゆるエースの存在よりも大きなミスをしたくないことが入賞の鍵であることが過去の実績は示している。

JWOC代表選手は、京都女子大の澤田、京大の番場、相模女子大の井手、慶應義塾大学の高橋らだ。その中でも2年生で日光インカレ4位入賞とこのク

## 男子ベテラン

### 女子ジュニア走順予想

	1	2	3
京都	石川裕理	澤田留己	番場洋子
神奈川	井手千寛	松永彩	高橋ひろみ
東京	竹内麻理	伊是名なつ子	山本真美
茨城	前田穂	高野麻記子	平林静保
静岡	松島佳代子	望月順子	鈴木詩奈子
埼玉	明星麻衣	目黒未紀	西野方子

### 男子ベテラン走順予想

	1	2	3
埼玉	海老沢正	田島三郎	小笠原揚太郎
神奈川	高橋 厚	鈴木英一	尾上秀雄
愛知	小幡昭次	小野盛光	粟野義明
千葉	大塚校一	鈴木栄一	高橋義宏
兵庫	永田 実	磯部貞夫	尾上俊雄
茨城	三澤儀男	上野山禎造	高橋寛
東京	児玉 拓	八十八一吉	酒井克明

### 女子ジュニアクラス(WJ)

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
	東京	千葉	愛知	福島	広島	静岡	神奈	兵庫
京都	4	2	0		1	0	7	1
静岡	1		1	3		8	5	2
東京	2	4	2	5	0	1	2	3
群馬						0	3	4
千葉	3	3	8	4	4	3	6	5
神奈川	8	3	0	2	2	4	6	

男子ベテランクラス (MV)

	第1回 東京	第2回 千葉	第3回 愛知	第4回 福島	第5回 広島	第6回 静岡	第7回 神奈	第8回 兵庫
愛知						2	1	1
神奈川					1	10	2	
茨城						8	6	3
兵庫						4	2	4
埼玉						7	5	5
千葉						3	4	6

第6回に新設されて以来まだ3回だが、愛知、神奈川が実績を残している反面、東京、埼玉の影が薄かった。メンバーの少ない県では、ベテランクラスの人がシニアクラスに出場するケースも多いのも特徴である。

もともとあまり人的移動の多くないクラスなのだが今回の制度変更でいくつかの動きがあった。まず東京から海老沢、小笠原が埼玉に、高橋が神奈川へと出たことだ。さすがに東京の痛手は大きいだろう。埼玉は田島にこの移籍組2名を加えて大幅戦力アップを図り、神奈川は負傷の富樫の穴を高橋で埋める。優勝争いはこれに常連メンバーで臨む愛知を加えた3県だろう。千葉はMSを解体し、エースの大塚をベテランに回して巻き返しを図る。1走で飛び出せばチャンスが出てくるだろう。過去安定した実績のある兵庫からも目が離せない。メンバーが読めないが上野山の抜けた穴は永田か？

<監督のコメント>

埼玉：久々の田島復帰と海老沢、小笠原の東京 OL パワーですごいチームが出来上がりました。まさに「ベテラン」という言葉が似合うメンバーです。これで優勝は間違いないでしょう。

千葉：先行型 1走：先頭でリレー。2走：時間差を伸ばす。3走：順位の維持

茨城：昨年もメンバーであった三澤さん(日立工機OLK)が残り、そこへ昨年の兵庫県代表メンバー上野山さん(OLP 兵庫)、昨年は補欠でしたが今年は見事代表の座を射止めた高橋さん(つくばROC)が加わり、戦力充実です。

団体総合

団体総合では過去8回のすべてで東京と神奈川が(同点2位はあるが)1、2位を独占している。昨年も埼玉がほとんど優勝を手中にしていたにもかかわらず、最後の詰めでチャンスを逃してしまった。3連覇を続けている神奈川であるが、毎年他を圧倒するような凄みは感じられない。間違いなく1位になれそうなクラスは1つもないのだ。ただどのクラスも悪くても2~3位には潜り込めそうなメンバーを揃えている。本当に全クラス入賞が狙えそうな点だが、神奈川の強みでもあり連覇の原動力だろう。団体総合の予想での第1の着眼点は当たり前だがME、WEでどれだけ確実に点を取れるかである。過去のデータを見てみると、優勝するにはこの2つで最低20点を取ることが必要となる。今年これに該当するのは、東京、埼玉、神奈川、茨城、千葉までだろう。

次にその他のクラスであるが、2クラスの点のみ加算されるので2クラスに強ければ良いことになるが、実際はそれだけでは勝てない。ちょっとしたミスで順位を落としたときの歯止めが効かないからだ。今年5~6点が狙えそうなクラスを2つ以上持っている県を探してみると、東京、埼玉、神奈川、茨城あたりになる。ということで優勝ということになると、結局この4県に絞られてしまうようだ。

もし今年ハプニングがあるとすれば、テレインの特性により勝負の要素が変わった時だろう。昨年はテクニカルな難しいテレインだったためよもやの大逆転があった。今年はむしろ走力勝負になる可能性を秘めているので、今までと違った結果も十分考えられるだろう。

<団体総合>

	第1回 東京	第2回 千葉	第3回 愛知	第4回 福島	第5回 広島	第6回 静岡	第7回 神奈	第8回 兵庫
神奈	2	1	2	2	2	1	1	1
東京	1	2	1	1	1	2	2	2
茨城	8	3	8	4	5	4	5	2
埼玉	8	5	6	3	4	3	3	4
愛知	5	7	7	0	7	6	4	5
千葉	3	6	5	4	3	4	8	5
静岡	5	9	2	6	8	12	6	7
京都	4	4	4	0	6	9	11	7
兵庫	8	9	12	8	14	14	8	9
長野	13	0	14	0	0	0	12	9

<監督のコメント>

長野：去年はなぜかME4位とかになっちゃいましたけどね、あんなのは埼玉とか千葉とか京都とか大きいところが情けなかつただけですね。たくさんの競技者を抱えているのに、なんだったんですかねえ。人が余ってるなら少し分けてほしいぐらいですよ、こっちは。それに、強いところがもっとしっかりしてくれないと、全日本リレーも盛り上がりがないと思いませんか？っていうか全日本なんて言っても所詮その程度のものなんじゃないかなえ。まあ、そんなんで田舎の我々にとってはある意味晴れの舞台ですからなんとかして目立つ。選手権も一般もね。それだけです。まあおもしろきゃそれでいいんじゃないですか？

兵庫：今年の目標は「団体総合で10点確保、いずれかのクラスで入賞」です。

愛知：世界選手権(WOC2005)の日本誘致に成功した愛知県(今後は全国の皆さんの力を結集しWOC2005の成功だけでなく、これを機にオリエンテーリング界を変えていきたいと考えておりますので、全国の皆さんご協力をお願いします。)は、競技面でもレベルの高いところをアピールしたいと思っています。とりわけMVとMEは優勝を狙っております。

茨城：昨年、総合2位という快挙を成し遂げておりますので今年も貪欲に上位を狙いたいところです。

埼玉：完全優勝でフィナーレ昨年、WE・MSE・WSEで優勝しておきながらなぜか総合4位になってしまった埼玉。その雪辱を果たすべく、今年はさらにパワーアップしたメンバーを全クラスに取り揃えました。目指すは優勝。いや、全クラス優勝の、「完全優勝！」と豪語したいと思います。

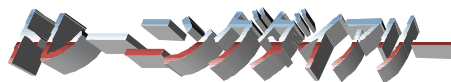
京都：目標は4クラスでの入賞を果たすことです。

新潟：ME・WEは、若いメンバーを中心に、団体得点の獲得をねらっています。MS・WS・MVは、

総合力で勝負。MJ・WJは勢いがありますので上位にくいこめるものと思います。今回の大会で新潟県は初めてすべてのクラスにエントリーしました。隣県ということもあり、一般クラスにも多く参加します。日本海側のトレインの特性を知り尽くした新潟県が、大会を盛り上げるべくトレインを駆けめぐるります。

神奈川：今年も神奈川県が圧倒的な優位を誇るクラスは1つもない状況です。でも、3連覇した去年までも状況は同じでした。本番への選手の皆さん、サポーターの皆さんの弛まぬ努力が3連覇を支えて来ました。今年も選手団全員の力を結集し、4連覇に向けて頑張ります。

今回は地方での開催のため、一般クラスへの参加が減少したようだ。反面、近場での開催ということで新潟が初めて全クラスにエントリーしている。全体のチーム数が少なくなるのは残念だが、地方開催の効果がこのような形で現れるのは嬉しい限りだ。それよりも来年以降の全日本リレーの開催予定が決まっていないという話を聞いている。今からでも何とか工面して継続させたいものだ。今回の制度変更で、ますます首都圏集中型になってしまったようだが、このことによって参加数が減少し、結果として大会開催自体が難しくなってしまうことは何としても避けなければならない。今の我々にできることとしてまずは大会に参加し、精一杯戦って良い大会にすることだろう。今回は勝手な予想なども入れてしまったが、この文章を読んで各県の闘争心に火が付いて盛り上がりれば幸いである。



## それはエリートへのマイルストーン

インカレで悔しい思いをしたあなた！

来年こそ表彰台、そう思ったあなた！

あの時の気持ちを忘れていませんか？

長い1年間、「あの時の気持ち」だけでは乗り切っていけません。戦略的にトレーニングを計画し、それをしっかりコントロールする必要があります。そのトレーニング・コントロールに欠かせないのがトレーニングダイアリー。

インカレへ、そして世界を目指すあなたのために、本トレーニングダイアリーは企画されました。日本のトップエリートによるトレーニング計画や理論などのコラムも満載。大会会場でも発売予定。納得の500円です。

トレーニングダイアリーのお問い合わせは、利光まで。